

福生市子ども読書活動推進計画(第五次)(案)に関する意見

(2) 市民意見

実施期間 令和7年12月11日(木)から令和8年1月9日(金)

提出人数 3名7件

提出方法 持参 1名 Logoフォーム1名 ファックス 1名

	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	電子書籍をより充実させる為に予算を使うべき	電子書籍については、紙の本による読書の推進と併せて、すべての子どもが等しく読書をする事ができるよう、読書環境の充実を推進してまいります。
2	学校図書館に学校司書の配置を早急に各校1名以上にし、学校図書館の持つ役割を発展・充実させられるよう体制づくりを急いでいただきたい。	学校図書館法では司書教諭のほかに、学校司書を配置するよう努めるものとされており、市では、学校図書館を円滑に運用するため、2校あたり学校司書1人の配置を行っています。
3	学校図書館司書は、市内全校に1名ずつ必要です。各学校に図書館司書教諭がいても学級を持っている方も多く、十分その資格を活かすことができる環境にありません。専門の学校図書館司書との連携が取れてこそ、子どもたちの知りたい、調べたいに答えることができるし強化や行事との連携を図ることができます。	児童生徒及び教員による学校図書館の活用を図るため、学校図書館の充実や調べ学習の支援等を推進するとともに、市内図書館間また学校図書館間の相互貸借や配本事業など、図書館と連携した取組を行うことで、引き続き、学校図書館の機能強化を図ります。
4	中央図書館はじめ図書館司書の配置を厚くし、図書館がより積極的に地域に出向いて読書を広げる活動ができるよう体制を整えていただきたい。	子どもの読書習慣の基盤づくりとして、家庭に向けた普及・啓発のためのイベント実施や、市内施設、幼稚園・保育施設でのおはなし会等を推進してまいります。また、読書活動を支える体制づくりとして、専門的職員の育成、研修等で職員の素質・能力の向上を図ります。
5	図書館における専門性の向上に関しては、全国の先進的な図書館活動をしている図書館や自治体などとの交流も含め、より視野を広げた研修・交流を進めていただきたい。	
6	市内は同じ教科書ですから、関連図書を学校が準備したい時期が同じです。学校の要望に応えられるよう複数の図書の準備が必要だと思えます。	教科書関連図書に係る学校の要望に対応できるよう、引き続き、学校、学校図書館及び市立図書館で連携した選書等図ってまいります。
7	先生方が勧める100冊の本などの取り組みは良いと思います。各学校でも、図書委員会の取り組みで、「今月のおすすめ本」とか「〇〇先生による読み聞かせ」「人気ミステリー」とか図書館の装飾などの工夫を発信して、学校や幼稚園、保育園などでも取り組みを応援してみてもはいかがでしょうか。	現在、各学校図書館での図書委員会、学校司書及び図書担当教員の連携による装飾展示の取組例として、「ふっさっ子が選んだおすすめの本32冊」「Yonde(ヨンデ)！コーナー」「新刊入りました(パネル一覧)」「ふれあい月間おススメ本」などがあります。本計画に記載のとおり、引き続き、様々な取組を推進してまいります。

本計画(案)に対するご意見以外のものは省略させていただいております。